

# 施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
	計画	基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051031
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ	80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画			
担当部局		政策財務部、教育委員会				
施策の内容(番号)		098		~	100	

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
098	生涯学習の拠点としての歴史を持つ公民館は、教養の向上や健康の増進等といった従来の目的に加え、人々が集いつながり合う「人と人をつなぐ機能」を発揮し、市民による地域の課題解決に向けた自主的な活動の拠点として、地域特性や実情に応じたきめ細かな公民館の運営を図り、生涯を通じて学び、活躍する市民を支えます。	A	①	生涯学習課
099	多世代の人に公民館や図書館などを気軽に安全に利用していただけるよう、公民館における魅力的な講座機能の充実に加え、図書館サービスのさらなる強化を通じた拠点機能・人材育成機能を充実します。また、老朽化した公民館施設においては、利用者に安全・安心かつ快適な環境が提供できるよう、計画的に施設の改修整備を進めます。	A	①	生涯学習課 /図書館
100	生涯を通じて人権教育などについて学ぶ機会を提供するため、幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校等の保護者を対象とした人権教育研修会や、地域住民を対象とした人権教育研修を実施します。	A	①	人権教育課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満  
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		管理コード	051031098
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進		本冊ページ	80
		施策	31	生涯学習の推進			
	関連個別計画	津市教育振興ビジョン前期基本計画(平成30年度～令和4年度)					
担当部局	政策財務部、教育委員会						
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	098	生涯学習の拠点としての歴史を持つ公民館は、教養の向上や健康の増進等といった従来の目的に加え、人々が集いつながり合う「人と人をつなぐ機能」を発揮し、市民による地域の課題解決に向けた自主的な活動の拠点として、地域特性や実情に応じたきめ細かな公民館の運営を図り、生涯を通じて学び、活躍する市民を支えます。					

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価	
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
098-1	公民館講座事業	市内各公民館及びコミュニティ施設等で地域力創造セミナー及び教養セミナー講座の実施	効	受講生は、学習ニーズが充足でき、自己実現が図れるとともに、生きがいや活力に満ちた生活を送ることができる	◆ 公民館講座を655講座開催する	○	令和4年度の講座実績は、当初予算時の計画を達成することができなかったが、609講座開講し令和3年度より16講座多く開催することができた。講座開催毎に受講生からアンケートを取り受講生のニーズを把握することができた。今後も受講生のニーズを把握しながら、講座の開講を進めていきます。
			誰	学習活動に関心のある方	◇ 受講生アンケート	◎	
	何		学習成果に満足いただき、地域に還元していただく	39,000 (千円)	現状維持		
098-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
098-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
098-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
098-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

098-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
098-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
098-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
098-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
098-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	-	B	B	B	A					
今後の方向性	-	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		管理コード	051031099
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進		本冊ページ	80
		施策	31	生涯学習の推進			
	関連個別計画	津市教育振興ビジョン前期基本計画(平成30年度～令和4年度)					
担当部局		教育委員会					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		099	多世代の人に公民館や図書館などを気軽に安全に利用していただけるよう、公民館における魅力的な講座機能の充実に加え、図書館サービスのさらなる強化を通じた拠点機能・人材育成機能を充実します。また、老朽化した公民館施設においては、利用者に安全・安心かつ快適な環境が提供できるよう、計画的に施設の改修整備を進めます。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
担当課		何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 今後の方向性		
099-1	公民館施設整備事業	公民館施設の学習環境充実	効	公民館施設の計画的な改修や修繕を進め、利用者の学習環境の改善に努める	◆ 改修工事 3件	◎	新型コロナウイルス感染症対策として、敬和公民館等のトイレ洋式化改修工事を実施するとともに、河芸公民館の安全な使用を確保するため、大ホールの吊り天井改修工事を実施することができた。津市内の公民館の修繕については56件修繕を行った。今後も公民館利用者が安全・安心な施設利用をしていただけるよう、公民館施設の計画的な改修や修繕に努めてまいります。
	生涯学習課		誰	公民館利用者	◇ 施設整備及び修繕件数	○	
		何	安全・安心な施設利用	37,762 (千円)	現状維持		
099-2	久居ふるさと文学館駐車場整備事業	久居ふるさと文学館の来館者用駐車場の増設の実施設設計、用地購入等	効	来館者の利便性が向上する	◆ 駐車場整備事業	◎	計画していた工期内に整備工事が完了したため「◎」とした。令和5年1月5日から利用者へ供用開始している。
	図書館		誰	久居ふるさと文学館及び近隣公共施設の利用者	◇ 駐車場の利用者数	◎	
		何	来館しやすくなる	26,219 (千円)	完了		
099-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
099-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
099-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

099-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
099-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
099-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
099-9	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
099-10	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり			
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進		管理コード	051031100
		施策	31	生涯学習の推進		本冊ページ	80
	関連個別計画	津市教育振興ビジョン前期基本計画(平成30年度～令和4年度)					
担当部局		教育委員会					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		100	生涯を通じて人権教育などについて学ぶ機会を提供するため、幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校等の保護者を対象とした人権教育研修会や、地域住民を対象とした人権教育研修を実施します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
担当課			何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 今後の方向性	
100-1	人権教育講演会事業	市内各所において、市民を対象に人権啓発のための講演会の実施	効	市民の人権に関する理解と豊かな人権感覚を育む機会が増える	◆ 人権啓発のための講演会の実施	○	令和4年度は全ての中学校区で人権教育講演会が実施されたが、開催回数や参加人数がコロナ禍以前までは戻っていないので「○」とした。今後も多くの人が参加できるよう、持ち方や呼びかけ等を工夫をしながら取組を進めていく。
	誰		幼児・児童生徒・市民	◇ 参加者の感想(満足度、安心感等)	◎		
	何		市内各地域で、子どもたちを取り巻く大人の人権意識の向上を図り、人権尊重の地域づくりを進める	1,687 (千円)	拡充・充実		
100-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
100-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
100-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
100-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

100-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
100-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
100-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
100-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
100-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

